

教科「保健体育」

科目「体育」

1 年

単位数	3 単位
担当者	三ヶ山正樹、菅井麻紀、佐藤政志、 古川沙耶香、渋谷宗馬
教科書	大修館書店 現代高等保健体育
副教材等	大修館書店 ステップアップ高校スポーツ

【1】 科目の目標

運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。

【2】 科目の内容と進め方

1 学期〔体づくり運動、水泳〕〔選択Ⅰ球技（バレーボール・ソフトボール）〕

2 学期〔水泳、体づくり運動〕〔選択Ⅱ球技（サッカー・バスケットボール）選択Ⅲ球技（バドミントン・卓球）〕

3 学期〔創作ダンス〕

生徒が主体的に創意工夫しながら取り組めるように、グループ学習を積極的に導入します。技能習得充実のために個人の能力に応じた個別指導を実践します。

また、各学期に体育理論の授業を行います。

【3】 学習形態

選択制授業が中心です。

【4】 学習上の留意点

- ・服装を整え、一人一人が健康と安全に留意して授業に臨むようにしよう。
- ・主体的に授業に参加し、他者と協力し、責任をもって、公正な態度で実践しよう。
- ・運動技能を高めるために、運動の仕組みを深く理解し、生涯にわたって運動を実践できるようにしよう。
- ・1 年次は基礎力作り、基礎動作をしっかりと身につけるように心がけよう。

【5】 評価の方法と評価の観点

① 評価の観点

関心・意欲・態度、思考・判断、運動の技能、知識・理解の4観点で評価します。

② 評価の方法

評価の方法		各領域に共通して、以下の観点を踏まえ技能テスト、学習態度、出席状況、体育理論テスト等から総合的に評価します。
評価の観点	関心・意欲・態度	公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、主体的に取り組む健康・安全を確保しているか。
	思考・判断	「自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方」であり、理解できているか。
	運動の技能	運動種目等の固有の技能や段階的な動き等を身に付けているか。
	知識・理解	各領域に応じて「技術（技）の名称や行い方」、「体力の高め方」、「課題解決の方法」、「練習や発表の仕方」であり、理解できているか。

【6】 その他